



Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」
Citation	, 100, 1-22
Issue Date	1998-02
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/66397">http://hdl.handle.net/2115/66397</a>
Type	periodical
File Information	yuin100.pdf



[Instructions for use](#)



# 榆蔭

Yuin 北海道大学附属図書館報

## 目次

榆蔭と今村成和先生，図書館電算化と山田常雄課長 元附属図書館長(名誉教授) 大野 公男……………1	お知らせ……………17
「OPACに対するご意見」について……………4	教官著作寄贈図書……………20
データベース案内 -参考閲覧室で利用可能なCD-ROM-……………9	会議……………21
	研修・講習会等……………22

## 榆蔭と今村成和先生，図書館電算化と山田常雄課長

元附属図書館長(名誉教授) 大野 公男

附属図書館報「榆蔭」の100号が刊行されるという。記念すべき機会であり、お目出度いことである。

「榆蔭」の第1号は、1967年1月に刊行されているから、それから31年余の時間が流れたことになる。その間1969年には、全国的に吹き荒れたいわゆる大学紛争に際し、附属図書館も4カ月に亘って封鎖されるという異常事態も発生している。この30年は決して短い歳月ではなかった。

さて「榆蔭」はどのような目的で誕生したか。当時の附属図書館長今村成和先生は「発刊の辞」において、図書館の沿革から説き起こして、その趣旨を次のように述べておられる：

“(前略) 北海道大学附属図書館の歴史は、遡れば、明治9年札幌農学校の設立に際し「書籍

室」を設けたことにはじまるが、現在、全学の蔵書数は百万冊をこえ、また、本館の建物は、全国立大学中でも、とび抜けた規模と、最新の設備を有するものとなっているのである。このように、歴史において古く、施設としてすぐれた本学附属図書館がそれにふさわしい図書館活動を展開しているかという、そこにはなお多くの問題が残っているように思われる。(中略) いうまでもないことであるが、図書館施設は、いわば、全学の共同財産であり、本学において教育研究に従事する職員学生のために、もっとも有効に、その機能を発揮しうる仕組みとなっていなければならぬ。(中略) この「榆蔭」が全学にひろく散在する図書関係機関の連絡を密にし、かつ、図書館と利用者をつなぐ太いきづなとして発展することを期待して、

この小文の結びとしたい。”

今村先生は1965年から6年間附属図書館長を務められた後、1975年に学長に就任された。学長在任中の1980年に大型計算機センター10周年記念式が行われたが、その「学長祝辞」の中で図書館の電算化に触れられている：

“(前略) 話が個人的なことになって大変恐縮なのですが、私は、当センターの設立の当初いささかそのお手伝いをいたしました。記録によりますと、1967年3月の評議会で、北海道大学大型計算機センター(仮称)設置準備調査委員会の設置が決定したとありますが、当時私は附属図書館長として評議員になっていました。図書館長としては、図書館業務の機械化に関心をもっておりましたので、早速私の所属学部であった法学部長に頼んで、学部推薦の委員にしてもらいました。(中略) 先に書きましたように、私の最初の関心事は、図書館の機械化との関係にあったのですが、間もなく、当面それは期待できないことが判りました。設置の目的がちがうし、ドラムの容量からいっても、そういう仕事には適さない、ということでありました。

ところが、最近になりまして、文部省の学術審議会から、今後における学術情報の在り方についての答申(1980年1月29日)がありました。そこでは情報検索システム確立のために、大型計算機センターと大学附属図書館は、協同して、大きな役割を担う必要があることが指摘されています。(後略)”

先生の指摘された方向への北海道大学の動きは、1981年7月「北海道大学学術情報システム準備検討委員会」の第1回の会議が開かれて、始まることになる。この委員会の下には、同年10月「図書情報専門委員会」と「データベース専門委員会」が設けられ、さらに1985年夏には、「地域ネットワーク専門委員会」が追加設置された。先行した2専門委員会の最終報告は、「北海道大学における学術情報システムの具体化について I」として1986年2月有江学長に答申された(楡蔭72号に収録)。「検討委員会」の委員長

は、代々の図書館長、故塩谷堯先生、東晃先生、そして私が、勤めることになる。

こういう背景の下で、今村先生から数えて6代目の附属図書館長に1985年4月1日に任命された私の初仕事は、図書館に導入する計算機システムの導入であったが、これについては同時に着任した故山田常雄学術情報課長の貢献が極めて大きい。この山田課長の陣頭指揮により、86年4月から、端末100台を備えた、当時としてはまさに画期的なシステムが稼働を開始した。山田課長は87年10月東工大附属図書館に転任、その1年後に47歳の若さで亡くなられてしまった。88年1月に、このシステムの“こころ”を知りたいとの問いを私が同課長に発したのに対する返事の抜粋が以下の5項目である：

1. 全学ネットワークをリアルタイム処理の採用によって実現したこと(他大学、センターはTSS)
2. 設計当初から利用者の検索を中心にし、ローカルな目録作業と有機的に統合したこと(他大学は目録ファイルと利用者ファイルの2重構造)
3. 図書検索を目標にし、誰にも余計なマニュアルなしで使用できる単純化に成功したこと(他大学はマニュアルが「冊」になっています)
4. システム作りのみでなく、データ作成のシステム(体制)までを短期間に完了したこと
5. コンピュータ資源の極めて有効な使用(CPU稼働率80%前後で運用しているバランスの良さは他に例がない)

遡及入力とは難題中の難題であるが、この端末台数を持ったシステムの安定した稼働、全学のバックアップ、さらに学術情報センターの協力のお陰で、86年から10余年を経た今日でも、遡及入力では北海道大学は全国のトップを走っていると言えよう。

話は少々遡る。1990年7月、附属図書館館報“楡蔭”80号の冒頭には、今村先生の“楡蔭80号の発刊に寄せて”が掲載された。その一部を引用する：

“(前略) 1987年3月20日付けの、飯田正一委員長の下でまとめられた「北海道大学図書館将来計画中間報告」(楡蔭No72)は、その冒頭に「大学図書館改革への途(1970, 楡蔭Ex.ed.)」の文章を引用して、そこには『「大学改革の目標は、研究と教育の場としての大学が、その社会的使命を達成するための方途を追求することにある」、大学図書館の改革は大学の共有財産である図書が、学問を志すものの総てに開放され、利用されることに役立つ図書館を作り上げてゆくことにあり」と述べられている。そして「図書館近代化の主役は電算機にあることを示唆している」ことを指摘し、「爾来北海道大学の図書館電算化は着実にその歩を進めている。」としてその成果に基づく図書館の将来計画を示している。20年前には一つの夢に等しかった図書館業務の全面的電算化の時代が遂に到来し、それに基づく将来計画の中で改めてこの文章が想起されることになろうとは、私としては思いも寄らぬことであった。

それと共に楡蔭72号には、当時の大野公男附属図書館長がこの中間報告について述べた文章が載せられているが、その中で特に印象が深かったのは、「附属図書館の責任者の立場から見て、特に重要と思われる点(の)第一は附属図書館が人文・社会系研究・学習図書館としての機能を果たすことが期待されているということを図書館委員会として初めて明示したことである。この構想は遠く昭和41年に今村元図書館長の「報告書」の中に現れて以来、図書館の基本構想の一つされながら、私の知る限り図書館委員会の”認知“を受けることなく経過してきたものである。私としては、この中間報告にあるように、文系学部等の御提議に基づき、その研究・教育の特性に応じた最適の条件を整備して、資料の移管と業務の統合を果たしたいものだ」と記されていたことである。

しかし実をいうとこれは、新図書館建設の動機でもあったもので(楡蔭1-5, 横山尊雄「北海道大学附属図書館改築の経緯について」参照)、私

の館長就任に際し先ず直面したのもこの問題であった。(中略)

大野前館長は又、図書館将来計画中間報告の中で「特に重要と思われる点」の「第二は理系分館の設置という計画が初めて提案されたことである。」と指摘されている。これも改革検討報告(図書館に関すること, 1973)の中では、「主として自然系について考えられる専門分野別図書館については、これを究極の目標」とするにとどまっていたもので、ここにも10数年の歳月の隔りがある。”

ながながと今村先生の書かれた文章から引用させていただいたが、先生が送って下さった楡蔭80号の別刷には、「図書館の今日のお仕事の中で、古くは20年余の昔に遡る私の館長時代のことを思い出していただきましたことは、私にとって何よりも嬉しく有難いことでした。これはその気持ちの一端を記したものです。」との暖かいお手紙が添えられていた。

この“楡蔭80号の発刊に寄せて”は以下の文章によって締めくくられている。さらに7年半の歳月が流れ去った現在であるが、私にはこれ以上のまとめの文言はとうてい考えつきそうもないので、そのまま引用させていただこう。

“創刊以来今日に至るまでの「楡蔭」の記事は、20数年(現在では31年)来の一貫した図書館改革の流れが、近時とみにその勢いを増している事実をよく示しているように思われる。願わくは、図書館と共にその勢いを今後も永く続けられんことを期待してやまない次第である。”

記：附属図書館情報サービス課・課長補佐宇野弘純氏は、数多くの資料を貸与、参観する便宜を供与して下さいました。ここに記して厚く御礼を申し上げます。

(おの きみお, 北海道情報大学経営情報学部教授)

## 「OPAC に対するご意見」について

附属図書館では平成10年度図書館システム更新に向け、ホームページ上で皆様に蔵書検索システムOPACに対するご意見を募っていましたが、約60件のご意見を頂きました。皆様のご協力に感謝いたしますとともに、今後の参考にさせていただきます。

さて、皆さんから寄せていただいたご要望の中には現システムをうまく使うことによって解決可能な問題がかなり見られます。そこで現システムをよりよく使うにはどうしたらいいかという点をQ&A風にまとめてみました。

**Q1** 本を探そうとすると本のタイトルを初めから終わりまで完全に入力しないと探せません。とくに長いタイトルの本だとちょっとまちがったりして、ほとんどヒットしません。なんとかならないでしょうか。また、重要語（キーワード）からも検索できると便利なのですが。

**A** **前方一致** タイトルや著者名で検索する場合、適当なところで切って最後に%をつけると、先頭から%までが一致するすべての本を検索することが出来ます。(先頭の冠詞、接続詞等ははずすこと)しかし、この方法だけでは本に書かれたり一般に使われている書名と図書館で書名として扱われている名称にずれがある場合や、あなたが書名の一部しか覚えていない場合等は検索できません。これらの場合に対応するため、キーワードを使用した検索方法をお勧めします。

例タイトルの先頭に小さく「解説」等の語が付加されている場合、その本に対してデータベース上の書名の多くは「解説\*\*\*\*\*」という形になります。そのため、普通に書名から検索しようとした場合、タイトルの主たる部分を入力しても先頭に「解説」とつけないと検索できません。

**キーワード** 現システムでも次のように入力すればキーワード(書名中の重要語)からも検索できるようになっています。試しにやってみてください。

- (1) 入力欄に一つの単語のみを入力する。(助詞冠詞接続詞などがあると×)
- (2) 和書漢字単語は読みカナを入力する。(複数の読みがある語については両方試してみた方が確実です。)
- (3) 単語に対しても前方一致「%」は有効です。ドイツ語など語尾変化があるキーワードについては語幹+%とするとうまくいきます。

キーワード(重要語)から検索するには検索語を次のように選ぶ必要があります。(○はOK ×は不可)

1. 「**Wörterbuch der altindischen Sprache**」を探す場合。

○Worterbuch (Wörterbuchは×) ○altindisch % ×der altindischen Sp% ×indischen

2. 「論集 現代の金融問題」を探す場合。

○げんだい ○きんゆう ○ろんしゅう ×げんだいの ×現代 ×げんだいのきんゆうもんだい

☆1つのワクに1つの単語のみ入力し必要に応じて何回かの検索を繰り返します。

**Q2** 著者の姓名から検索できない。「夏目漱石」と入力しても夏目漱石著の本にヒットしない。

**A** 著者名を入力するためのルールは次のようになっています。

- (1) 和著者名も洋著者名も「姓」+スペース+「名」です。
- (2) 前方一致「%」が使えます。

名前を入力例……「夏目 漱石」「Kant Imanuel」「Kant I%」「あくたがわ りゅうのすけ」  
 \* 「夏目%」とか「なつめ%」と入力するとすべての夏目さんの著作を検索することになります

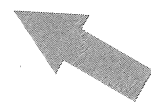
**Q3** 姓が夏目という人々の著作のうち夏目漱石の著作を除いた本を検索したい。

**A** 演算検索を使用してください。

**WWW版**では画面右の「AND▼」を押すと、「NOT」(=でない)が表示されるのでそれを使用する。

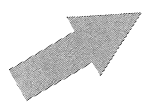
1つめのハコに「なつめ%」「著者名」「NOT」2つめのハコに「なつめ そうせき」と入力。

なつめ%	著者名 ▼	NOT ▼
なつめ そうせき	検索語種別: 指定無し ▼	AND ▼



**図書館専用端末**では演算検索モードを使用する。

1. まずf6を押して演算検索モードに入り、最初に「夏目%」と検索。次の「夏目 漱石」と検索します。(検索結果欄にそれぞれ1と2という番号がついています。)
2. つづいて、@1-2と入力し検索します。(①-②の意味→1でヒットした本のうち2でヒットした本を除いた本を提示しなさい。)
3. 結果が表示されると「Enter」or f2「結果表示」を入力します。



検索語入力欄		検索語種別指定	
@1-2		無指定	
検索行	検索語	検索語種別	件数
1	なつめ%	著者名	224
2	なつめ そうせき	無指定	237

**Q4** 私はWWWブラウザとしてNetscapeを使用しています。WWW版OPACの検索語入力画面で、マウスで検索開始ボタンを押さないと検索が開始されないのは面倒くさい。「ENTER」キーを押すことで検索開始出来るようにしてほしい。

また、Internet Explorerでも日本語を検索出来るといいんですが。

**A** Netscapeを使用して「ENTER」キーで検索開始とすることはソフトウェアの仕様上不可能です。ちなみに、Internet Explorerでは「ENTER」キーで検索開始できます。また、Internet Explorerでも日本語で検索できます。

**Q5** Telnet版で検索した結果とWWW版で検索した結果が違うみたいだ。(WWW版で検索した方がうまくいく。)

**A** Telnet版もWWW版も同じデータベースを対象に同じ問い合わせ言語を用い検索しています。但し、Telnet版ではコマンドの組み合わせ方が利用者にまかされているのに対して、WWW版ではシステム上にある既製のコマンドを使って検索することになり、結果として別の検索となる場合も多いと思われます。

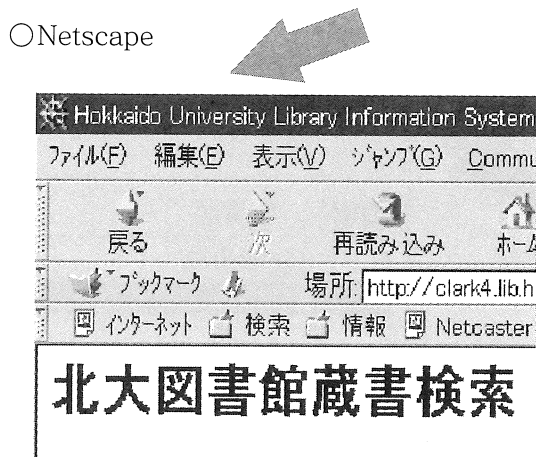
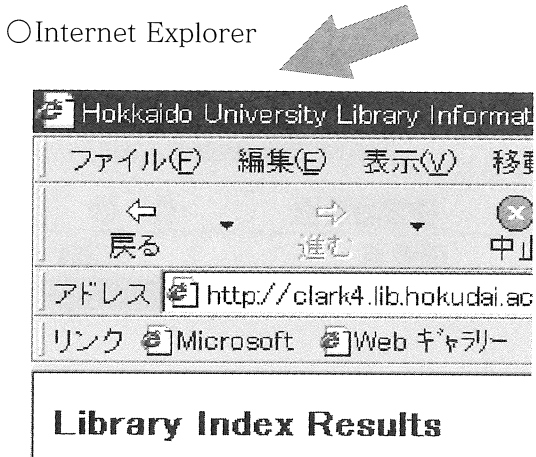
WWW版で無指定《既定値》で検索すると、Telnet版で書名+キーワード+著者名+出版者等の各フィールドを同時に検索したのと同様の結果となります。

**Q6** 一度検索した画面からOPACメニューに戻ると入力した検索語が消えてしまう。検索結果を見て検索語を付け加えたり修正したりする必要がある場合も多いのに、これでは困る。

**A** 検索語を残すことは出来ます。

**WWW版**の場合

「OPACメニューへ」ボタンを使わずブラウザの「戻る」ボタンを使ってください。そうしたら、入力した検索語が残っているはずですので、それを修正し再び検索実行してください。



**図書館専用端末版**の場合

1. 検索結果表示画面から **f4** キー（「前画面へ戻る」 or 「検索語入力」）で検索語入力画面に戻ります。
2. 検索語入力画面で直前の検索語を取り消す際は **f4** キー「前行クリア」をおす。（修正する場合は一度取り消し正しい検索語を入力してください） さらに検索語を付け加えるときは、そのまま検索語を入力してください。

## ○検索語入力画面

1. 直前の検索語を取り消しする場合は **f4** キーを押します。右図3では「こいざい%」が取り消されます。
2. 資料をさらに絞り込みたい場合は、新たな検索語を追加します。

実行 f・1	結果表示 f・2	クリア f・3	前行クリア f・4	終了 f・5	演算検索 f・6	件名表 f・7
資料種別 ◆すべて			▽和書	▽洋書		
▽図書			▽和図書	▽洋図書		
▽雑誌			▽和雑誌	▽洋雑誌		
検索語入力欄			検索語種別指定			
[検索語入力欄]			無指定			
検索行	検索語	検索語種別	件数			
1	きんゆう%	無指定	1,518			
2	こくさい%	無指定	185			
3	こいざい%	無指定	0			

## ○簡略書誌画面

**f4** キーで検索語入力画面に戻る。（入力された検索語はそのまま残っています）

## ○詳細表示画面

**f4** キーで前画面に戻る。

詳細表示 f・1	検索語入力 f・4	検索終了 f・5
簡略書誌一覧		
項番	資料種別	簡略書誌
北海道大学蔵		
単行詳細表示 f・1	前画面へ戻る f・4	検索終了 f・5
集合書誌詳細表示		



**Q7** ロシア語・ドイツ語・フランス語・中国語の本を探したいのだが。

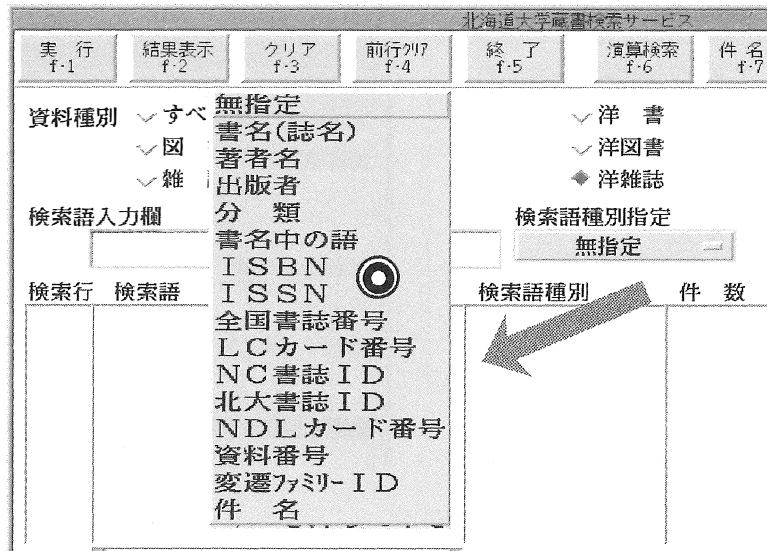
**A** 英語以外の外国語については次のように探します。

- \* ロシア語の本を探す場合、書名を検索するときはキリル文字の元綴りでOK。（英文字の翻字形でもよい。）翻字方法はALA式です。（なお、たまに翻字形のみから検索でき、元綴りからはだめな場合があります。）
- \* ドイツ語ウムラウトやフランス語アクサンのような音標記号は単純に取り去る。（この辺は各データベースでいろいろなやり方があるみたいですが、これが北大の決まりです。）
- \* 中国漢字は日本語漢字に直して検索します。（日本語読みもOKです。）



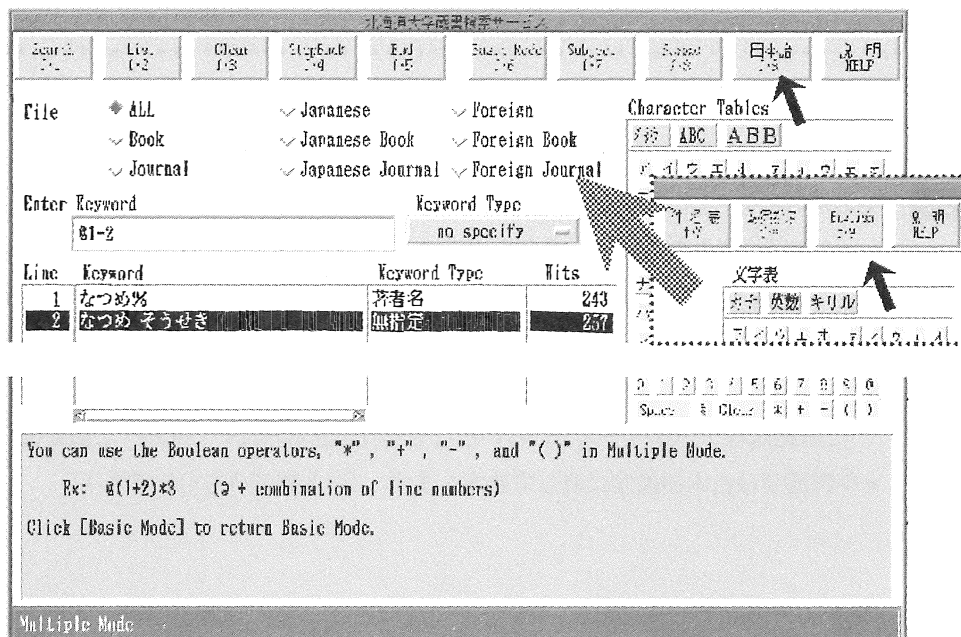
**Q8** ISBN・ISSNからの検索は出来ませんか。

**A** 図書館専用版OPACを使えばISBN・ISSNからでも検索出来ます。検索語種別指定ボタン(「無指定」と表示)を押してISBNまたはISSNを選択してください。



**Q9** 最近は留学生も増えています。英語版のOPACがほしいですね。

**A** 図書館専用版OPACには英語版もあります。(但し所在表示は日本語のまま)



## データベース案内 —参考閲覧室で利用可能なCD-ROM—

- ・ここで紹介するCD-ROMは、参考閲覧室で利用できます。
- ・CD-ROMの利用を希望される方は、参考閲覧室のレファレンスカウンターまでお申し出下さい。
- ・検索結果を持ち帰ることもできます。ご希望の方は、フロッピーディスク（3.5インチ）をご持参下さい。
- ・CD-ROMの利用についてのお問い合わせは  
参考調査掛（内線2973/ref@ambitious.lib.hokudai.ac.jp）へどうぞ。

### 出版書誌情報

図書・雑誌などに関する情報（タイトル・著者・出版社・出版年など）を調べるためのCD-ROM

CD-ROM名	収録内容	収録範囲	更新頻度
Global Books in Print	英語の書籍を中心とする出版目録。現在入手可能な図書200万件のデータを収録。 Books in Print PLUS (米国の出版目録) British Books in Print (英国の出版目録) International Books in Print (英・米以外出版の英語書籍の出版目録) Austrarian Books in Print (豪州の出版目録) New Zealand Books in Print (ニュージーランドの出版目録) Canadian Telebook (カナダの出版目録) のデータを検索可能	Current	年12回
VLB/VLZ Aktuell on CD-ROM (German Books in Print)	ドイツ国内発行の、現在入手可能な既刊・新刊本60万タイトルを収録。	Current	年6回

CD-ROM名	収録内容	収録範囲	更新頻度
Deutsche Nationalbibliographie	ドイツで1991年以降出版された、市販、非市販資料、地図、学位論文、新刊書のデータを収録	1991-	年4回
ELECTRE BIBLIO (French Books in Print)	フランスで発行されたすべての言語の図書およびフランス以外で発行されたフランス語の図書で、現在入手可能な37万タイトルを収録。	Current	年4回
Russian Books in Print on CD-ROM	ロシアの出版目録。1989-1993年にロシアで刊行された全書籍、及び1997年までの刊行予定タイトルを収録。	1989-1997	なし
Russian National Bibliography	旧ソ連・ロシアで1980年から1995年の間に出版された書籍80万タイトルのデータを収録。	1980-1995	なし
学術雑誌総合目録 CD-ROM版	全国の学術研究機関・大学の図書館等が所蔵する学術雑誌の総合目録。21万種類、303万件の所蔵について収録。特定の図書館の所蔵データや、図書館間の相互利用情報の検索も可能。	-1996	なし
季刊書誌ナビ	国内発行の書籍・雑誌・新聞の出版データ及び国内の出版社のデータを収録。書籍110万タイトル、雑誌2万タイトル、出版社2万件のデータを検索可能。	書籍： 1980- 雑誌： Current	年4回

#### 所蔵情報

特定の図書館・研究所等に所蔵されている資料を調べる為のCD-ROM。

Boston Spa Conferences	British Library所蔵の、世界の主要な会議録30万件以上を収録。	Current	年4回
------------------------	--	---------	-----

CD-ROM名	収録内容	収録範囲	更新頻度
愛知学院大学蔵書目録	愛知学院大学が所蔵する資料の目録。 和書は1974年、洋書は1949年からの所蔵分を収録。	-1996	年1回
AURORA on CD-ROM	青山学院大学、同大学理工学部分館、厚木分館、女子短期大学図書館及び学科センターが所蔵する資料の目録。「明治期キリスト教文献目録」を含む。	-1996	年1回
大正大学所蔵目録	大正大学図書館が所蔵する、主に昭和43年以降に出版された和漢書・洋書約12万冊の目録。	1968- 1994	なし
玉里文庫等善本叢書目録	鹿児島大学附属図書館所蔵「玉里文庫」及びその他の貴重資料の目録。	-1997	なし
国際協力事業団図書館所蔵目録 JICA Library Catalogue	国際協力事業団図書館が平成9年7月現在所蔵する、図書・映像資料の目録。	-1997	なし

#### 文献書誌・索引・抄録

特定のテーマに関する文献（論文・雑誌記事・図書など）を入手する際に必要なデータを集めるためのCD-ROM。

Humanities Index	人文科学分野の代表的な約350誌から芸術・歴史・古典・言語・音楽・哲学等の記事のデータを収録。	1984-	年12回
Dissertation Abstracts Ondisk	主に米国の学位論文の抄録。 Dissertation Abstracts Masters Abstracts International Comprehensive Dissertation International のレコードを検索できる。	1989-	年4回

CD-ROM 名	収録内容	収録範囲	更新頻度
SCI Journal Citation Reports on CD-ROM	Science Citation Index (SCI) の対象とする学術雑誌の、引用文献数・被引用文献数をもとに、様々な角度から順位づけを行っている二次資料。Impact Factor も収録。自然科学・工学・生物・医学分野の主要学術雑誌 4,500 誌をカバー。	1996	年 1 回
Composite Index for CRC Hand-books 3rd ed.	CRC 社発行のハンドブックの総合索引。		なし
CD-ROM 版雑誌記事索引	国内で発行され、国立国会図書館が収集した、主要な学術雑誌及び一般誌に掲載された記事・論文の索引。約 3,300 誌 (1996 年 6 月以降は 5,500 誌) が収録対象。	Current	年 4 回
Aiken-CD (子ども家庭データベース)	日本総合愛育研究所が所蔵する、子ども家庭福祉、母子保険等に関する種々の情報。「厚生省心身障害研究」の目録データベースを含む。	1980-1992	なし
Zen Base CD1	花園大学国際禅学研究所(IRIZ)制作の、禅関係の資料集。70 以上の中国禅籍電子版、世界最大の禅関係書籍データベースなどを収録。		なし
CD-Book	国内で出版されている図書の要旨・目次と書誌事項を収録。	1986-1992	なし
CD-Magazine	国内で出版されている経済・産業関係の専門誌、一般誌約 1,300 誌の記事索引。	1981-1992	なし

## 新聞記事：

新聞記事を内容・記事見出し等から検索することができるCD-ROM。

CD-ROM名	収録内容	収録範囲	更新頻度
CD-HIASK〔朝日新聞〕	朝日新聞記事データベース。朝日新聞の新聞記事の検索及び全文表示が可能。	1985- 1996	年1回
CD-毎日新聞	毎日新聞記事データベース。毎日新聞の新聞記事の検索及び全文表示が可能。	1990- 1996	年1回
CD-ASAX 50yrs 戦後50年朝日新聞見出し データベース	朝日新聞縮刷版1945年から1994年までの総合索引。巻頭索引の見出し50年分299万件を検索可能。	1945- 1994	なし
CD-5yrs CD-毎日新聞 '91-95	「CD-毎日新聞」'91-'95年版の総合索引。5年分49万件の記事見出しを一度に検索可能。	1991- 1995	なし

## 雑誌全文

雑誌の全内容を収録したCD-ROM。

CD-ROM 版文章倶楽部	雑誌「文章倶楽部」の創刊号から終刊号まで(大正5年5月～昭和4年)の全155冊を撮影した電子画像データベース。	1916- 1929	なし
---------------	---	---------------	----

## 辞書・辞典

辞書・辞典のCD-ROM。冊子体のものに比べ、より大量のデータを高速に検索可能。

OED 2nd Edition	オックスフォード英語大辞典 第2版、全20巻のCD-ROM版。現代用語を含む50万語の見出しと140万の用例を収録。語源、同義語検索、年代・作者・作品限定、例文中の単語検索等ができる。		なし
-----------------	--	--	----

CD-ROM名	収録内容	収録範囲	更新頻度
CD-WORD : Multilingual Dictionary Database	世界12カ国18冊の辞書を収録 収録言語： Chinese, Danish, Dutch, English, Finnish, French, German, Italian, Japanese, Norwegian, Spanish, Swedish 収録された各言語間での相互検索が可能		なし
Microsoft-Shogakukan Bookshelf Basic	Microsoft-Shogakukan Bookshelfのプレビュー版。 『小学館国語大辞典』『プログレッシブ 英和中辞典』『プログレッシブ和英中辞 典』の3冊の内容を統合検索できる。		なし
CD-ROM版 世界大百科 事典(平凡社)	本巻30巻, 索引1巻から総項目9万 に及び本文全文, 索引語40万項目す べてを収録。図版, 数式, 化学式, 表 なども検索できる。		なし
広辞苑 第4版	百科事典的国語辞典として定評のある, 広辞苑第4版のデータ(総項目数22 万, 図版2,500, 表組96)を含む。		なし
現代用語の基礎知識	現代社会でよく使用される新語を網羅。 国際外交からスポーツ・レジャーまで 148ジャンル。	1993- 1994	なし

統計・数値

複数年にわたる統計や数値データを収録したCD-ROM。パソコンでの統計処理やグラフ表示などにデータを利用可能。

理科年表CD-ROM	大正14年創刊分から平成9年版に至る70冊分のデータを収録。	1924-1996 (1943, 44, 45欠)	なし
------------	--------------------------------	---------------------------------	----

CD-ROM名	収録内容	収録範囲	更新頻度
学校基本統計データ	初等・中等・高等教育機関を対象に、学校数、在学者数、卒業生数等についての種々の統計データ。	1955- 1992	なし
学校教員統計データ	学校教員等を対象に、教員の属性、職務態勢及び採用・離職の異動状況等についての統計データ。	1968- 1989	なし
学校保険統計データ	児童、生徒及び幼児を対象に、発育状態及び健康状態、身長、体重、栄養状態、視力聴力、歯の疾病、異常等の統計データ。	1955- 1992	なし
社会教育統計データ	社会教育行政、公民館、図書館、博物館、青少年教育施設、婦人教育施設、文化会館等を対象に、施設数、開設状況、活動状況、利用者数、職員数、情報提供方法等についての統計データ。	1955- 1990	なし
平成9年版通信白書CD-ROM	「平成9年通信白書」の全内容に、動画や図表等の多様な関連情報を本文にリンクさせて収録。 その他、平成7・8年通信白書本文や、表計算ソフトのデータとして使える統計資料等も併せて所収。	1997	なし

#### 地図情報

地図データを収録したCD-ROM。拡大・縮小・検索等が容易。

ゼンリン電子地図96	国土地理院発行の1/25000地図データ。バルーンビュー、マルチウインドウ、駅周辺表示などの機能が付随。	1996	なし
ATLAS MATE 日本地図全国版 ver.2.0	国土地理院発行の1/25000地図を基とした、全国版道路地図。ドライブルート探索機能つき。	1996	なし



国際資料

国際連合・欧州連合(European Union)等, 国際機関の発行する出版物を検索するためのCD-ROM。

CD-ROM名	収録内容	収録範囲	更新頻度
UNBIS Plus on CD-ROM	国連文書と出版物の書誌を, 主題・タイトル中の語・ドキュメント番号・発行年月日等から検索できる。その他, 主要な国連機関の決議の全文, 投票情報と演説の書誌検索等も検索可能。	1979-	年4回
EUROCAT on CD-ROM	EU 出版物及び文書の総合目録。 45万件以上。	1985	年4回
OJCD (Official Journal of the EC)	EU 公式記録(Official Journal of the European Communities)のLシリーズの全データ, Cシリーズの主要なテキスト及び抄録, その他を収録。	1952-	年4回

フォトCD

ヒロシマ・1945	原爆の記録写真を収録。		なし
-----------	-------------	--	----

## お知らせ

### ライブラリーセミナーが実施されました

附属図書館では、平成9年度に以下の6つのトピックについて「ライブラリーセミナー」を開催しました。

日時	トピック	
97. 8. 7	新聞・出版情報CD-ROMの使い方	※2回実施
97.10.23	BIOSIS/PsycLIT (外部データベース) の使い方	
97.11.12	インターネット情報の探し方	
97.12. 4	WWW版 FirstSearchの使い方	
97.12.11	Current Contents (外部データベース) の使い方	
98. 1.20-22	CD-ROM版 雑誌記事索引の使い方	※3回実施

セミナーは各回5名から10名を対象として行われ、大学院・学部学生をはじめとして、教官や職員の方々にもご参加いただきました。

#### ライブラリーセミナーとは？

利用者の皆様に、必要とする情報をより効果的に探していただけるよう、図書館が企画・開催しているセミナーです。主として、レファレンスツール（情報を探索するための道具）の使い方をご紹介します。平成9年度は、各種CD-ROM、インターネット、外部データベースの使い方等をご説明しました。

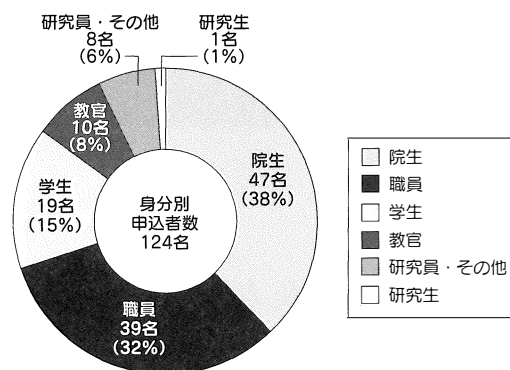
#### いつ開催しているのですか？

開催予定や申し込み先は、附属図書館や各学部の図書室に掲示されるポスターや、附属図書館ホームページ(<http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/>)上でお知らせしています。

#### 誰でも参加できますか？

北大にご所属の方を対象としています。平成9

年度は、大学院学生を中心に、延べ124名の皆様にご参加いただきました（グラフ参照）。



コンピュータに、あまり慣れていないのですが…

もちろん大丈夫です。たいいていのツールは、簡単な操作で使えるようにできています。セミナーに参加された皆様に、一通りの検索方法を覚えていただけるように、私たち図書館職員もできる限りのお手伝いをいたします。

附属図書館では、今後も引き続きセミナーを開催する予定です。また、この他にも、図書館の施設・使い方について案内する「図書館オリエンテーション」や、特定のテーマに沿ってツールの使い方を説明する「ライブラリーガイド」も企画しています。

ご不明の点・ご要望等がありましたら、お気軽にレファレンスカウンター（参考調査掛・内線2973/ref@ambitious.lib.hokudai.ac.jp）へ声をおかけ下さい。

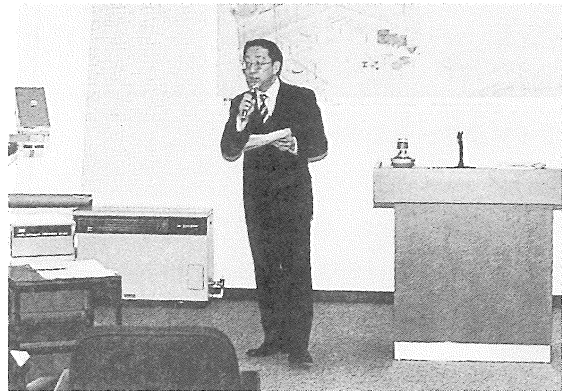
## 北海道大学図書館講演会（平成9年度第3回）が開催されました

2月26日（木）に、文部省学術国際局学術情報課大学図書館係長井深順二氏による「大学図書館の現状と課題」及び学術情報センター教育研修部研修課長塚田吉彦氏による「NCの研修の在り方」と題し、講演会を開催しました。

この講演会は、道内の国立大学及び国立工業高等専門学校で図書館業務に従事する職員に対して本学が行うもので、図書館関係者70名が参加しました。



講演する井深順二氏



講演する塚田吉彦氏

## 法学系拡大遡及入力事業が完了しました

平成8年11月より実施して参りました拡大遡及入力事業が、去る2月を以て所期の目標を大きく達成し無事完了しました。

### ・事業概要

本事業は目録情報遡及入力の効果的推進施策である全国的な分担入力の一環として、法学系書誌情報のNACSIS-CAT書誌登録の充実を目的として実施されました。

### ・事業期間

平成8年11月～平成10年2月

### ・対象資料

1970年代以前の附属図書館所蔵法学系分野未入力図書1万5千冊。

### ・入力要員

5名の臨時用人雇用による。

### ・入力冊数

和書 10,745冊

洋書 11,649冊

計 22,394冊

※ 内、オリジナル入力6,246冊(27.9%)

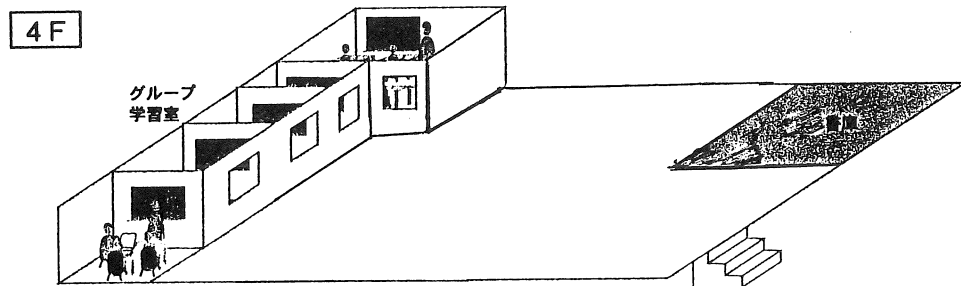
## 北分館からのお知らせ

### グループ学習室をご利用ください

北分館に4つのグループ学習室ができました。いままで「演習室」として北分館の資料を利用していたの演習（授業）のために、利用していただいておりましたが、このたび「グループ学習室」と名称を変更し、演習（授業）に支障のないかぎりグループ学習にも利用してもらうこととしました。たくさんの利用をお待ちしています。

#### 利用方法等

- 1) 利用時間帯：午前9時半から午後4時半まで。
- 2) 利用人数：3名以上、20名程度まで。2名では利用できません。
- 3) 利用日：当日申し込み、または1週間以内の1回分の予約。  
(複数回及び8日以上先の予約はできません)
- 4) 申込先：北分館2階カウンター



### 語学自習コーナーが3階に移設されました

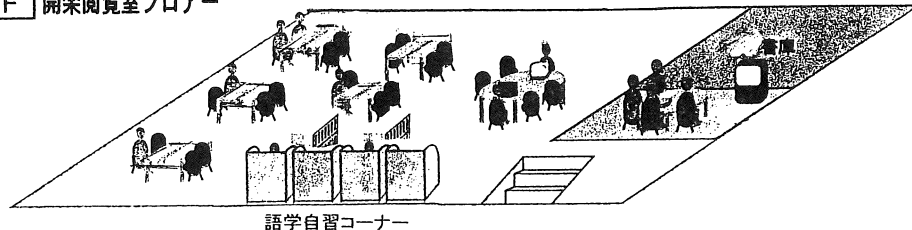
北分館の語学自習コーナー（1人用7席）が3階に移りました。いままで4階にありましたが、3階閲覧室に移りました。

より一層のご利用をお待ちしています。

利用時間は、午前9時から午後9時までです。

なお、テープ等の貸出手続きは2階カウンターでお願いします。

3F 開架閲覧室707ー



● 教官著作寄贈図書 ●

1997.6.1～1998.1.31

[本 館]

(法学部)

木佐 茂男 (共著)	テキストブック現代司法〔第3版〕	日本評論社 1997
〃	分権改革の法制度設計	地方自治総合研究所 1997
〃 (監修)	地方自治の世界的潮流 (上・下)	信山社出版 1997
中村 睦男 (共編)	立法過程の研究	信山社出版 1997

(獣医学部)

橋本 善春	馬の解剖アトラス	日本中央競馬会弘済会 1997
-------	----------	-----------------

[本館及び北分館]

(名誉教授)

深澤 和三	樹体の解剖	海青社 1997
-------	-------	----------

(経済学部)

吉野 悦雄	Polscy chlopi w XX wieku	Semper 1997
-------	--------------------------	-------------

(言語文化部)

大崎 雄二 (分担執筆)	日本・アメリカ・中国	TBSブリタニカ 1997
--------------	------------	---------------

ご惠贈誠にありがとうございました。今後とも図書館資料の充実のため、教官皆様の御協力をお願いいたします。

前号 (No.99) の訂正方お願い

前号の掲載記事に誤りがありますので、次により御訂正くださいますようお願いいたします。

(正)

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
Medline	95	109	168	207
Biosis			59	<b>64</b>
Current Contents	86	90	183	<b>217</b>

(誤)

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
Medline	95	109	168	207
Biosis			59	<b>217</b>
Current Contents	86	90	183	<b>64</b>

## 会議 (9.11.1～10.2.28)

### 【学 外】

○国立大学図書館協議会常務理事会

〈平成9年11月5日(水)〉

当番校：大阪大学

〔出席者：館長，事務部長，情報サービス課長〕

○国立大学図書館協議会理事会

〔出席者：館長，事務部長，情報サービス課長〕

○国立大学図書館協議会と学術情報センターとの  
業務連絡会

〈平成9年11月7日(金)〉

〔出席者：事務部長，情報サービス課長〕

○国立大学附属図書館事務部長会議

〈平成10年1月22日(木)〉

〔出席者：事務部長〕

○北海道図書館連絡会議幹事会

〈平成10年1月27日(火)〉

〔出席者：情報サービス課長〕

### 【学 内】

○電子図書館検討小委員会

〈平成9年11月27日(木)〉

議題

1. 電子図書館計画に関する基本方針及び検討方法について

○附属図書館新営検討小委員会

〈平成9年11月20日(木)〉

議題

1. 附属図書館の新営について

○図書担当掛長会議

〈平成9年12月12日(金)〉

報告事項

1. 第169回及び170回図書館委員会について
2. 第71次国立七大学附属図書館協議会及び第30回国立七大学附属図書館部課長会議について
3. 国立大学図書館協議会著作権特別委員会について

4. 国立大学図書館協議会と学術情報センターとの業務連絡会について

5. 図書装備の変更について

6. 図書館システム更新作業の現状について

7. 学術文献データベース等に関するアンケート調査について

8. 外国雑誌予約契約について

○附属図書館新営検討小委員会

〈平成10年1月16日(金)〉

議題

1. 附属図書館の新営について

○学術文献データベース等検討小委員会

．〈平成10年2月5日(木)〉

議題

1. 学術文献データベース等に関するアンケート調査結果について

2. 学術文献データベース等の経費負担方法の見直しについて

3. 新規導入希望データベースの取扱いについて

○次期システム仕様策定委員会

〈平成10年2月5日(木)〉

○北海道地区国立大学附属図書館事務（部・課）  
長会議

〈平成10年2月12日(木)〉

協議事項

1. 第45回国立大学図書館協議会総会について
2. 中小規模図書館アンケート，防災及び図書系専門職員の人材確保についての取りまとめについて
3. 第30回国立大学図書館協議会北海道地区協議会について
4. 第9次定員削減及び合理化減に伴う図書館の対応について
5. 平成10年度から大幅増額の教育改善推進費，いわゆる学長裁量経費に対する図書館の対応について
6. 北海道地区大学間共同サーバの構築について

7. 地区大学図書館における企画展示会等への協力について

報告事項

1. 国立大学図書館協議会理事会について
2. 第30回国立七大学附属図書館部課長会議について
3. 第71次国立七大学附属図書館協議会について
4. 平成10年度学術情報システム地域講習会の開催について

**研修・講習会等 (9.11.1～10.2.28)**

**【学 外】**

- 平成9年度第2回総合目録データベース実務研修〈平成9年11月10(月)日～11月28日(金)〉  
(場所：学術情報センター)  
受講者：片桐和子(附属図書館情報システム課目録情報掛)
- 平成9年度大学図書館職員講習会  
〈平成9年11月17(月)日～11月21日(金)〉  
(場所：東京大学)  
受講者：金子敏(附属図書館情報管理課北分館情報管理掛)
- 第10回国立大学図書館協議会シンポジウム  
〈平成9年12月2(火)日～12月3日(水)〉  
(場所：東京工業大学)  
出席者：和田章憲(附属図書館情報システム課図書館専門員)

**【学 内】**

- 平成9年度北海道大学事務職員接遇研修  
〈平成9年12月3(水)日～12月5日(金)〉  
受講者：小坂麻衣子(附属図書館情報システム課情報処理掛)、山家尚子(法学部スラブ研究センター事務掛)、川村幸(薬学部図書掛)、吉田裕子(工学部材料化学系専攻図書室)
- 北海道大学監督者研修(JST基本コース)  
〈平成10年1月20(火)日～1月23日(金)〉  
受講者：松本礼一(附属図書館情報サービス課資料サービス掛長)





---

北海道大学附属図書館報「楡蔭」(ゆいん) 通号100号  
ホームページ：WWW(<http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp>)

発行人 附属図書館事務部長 三上 洋由

編集事務 東海安興・木村恵一・佐藤 剛・首藤佳子・長井伸一・中村 陽・東理直子・  
片桐和子・石丸 恵・菊池健二・富本壽子・平田栄夫・平野 知・高塚 恵

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北8条西5丁目  
TEL 011-706-2967, FAX 011-747-2855

印刷所 (株)アイワード